

ピースツーリズム推進懇談会（平成30年度第2回）

平成30年（2018年）7月3日

目次

ルート周遊体験調査の実施状況について

- 1 広島市立大学『平和インターンシップ』受講生によるルート周遊の実施結果3
- 2 自転車ルートに関するヒアリング結果8

今後の事業展開について

- 1 懇談会で提起された意見や提案への対応9
- 2 スマートフォン向けコンテンツ制作状況11
- 3 事業スケジュール13
- 4 外国人等によるルート検証の実施(案)14

- 次回懇談会の日程15

ルート周遊体験調査の実施状況について

1 広島市立大学『平和インターンシップ[※]』受講生によるルート周遊の実施結果

※キャンパスの外に足を運び、多様な専門家から話を聞いて実践活動について学ぶことで、広く「平和」を学ぶ科目
同大学全学部の1・2年生に加えて、社会人も数名受講する。

実施日時：5月19日（土）13：30～16：30

参加人数：27人

実施方法：3グループに分かれてルートを周遊した後、国際会議場に集合し、意見交換を行った。

(行程)

ルート	経路
①被爆当時の痕跡を残す被爆建造物を巡るルート(徒歩ルート)	原爆ドーム→本川小学校平和資料館(土曜日のため、敷地外からの外観見学) →平和記念公園(旧慈仙寺墓石、レストハウス)→旧日本銀行広島支店 →袋町小学校平和資料館→(国際会議場)
②被爆前後の文化・文学を巡るルート(徒歩ルート)	広島城→ひろしま美術館・映像文化ライブラリー・エドモンドブランデン詩碑 →平和記念公園(峠三吉詩碑)→平和大橋→西平和大橋→(国際会議場)
③市民生活の復興を巡るルート(徒歩ルート)	(本通駅付近アーケード入口集合)→旧西国街道(本通)→アンデルセン →世界平和記念聖堂→福屋八丁堀本店→旧広島市民球場跡地(元広島カープ本拠地) →(国際会議場)

全ルート共通

項目	意見
スマートフォン向けコンテンツにあったらよい機能や情報等	<p>〈機能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声ガイド ・外国語対応 ・QRコードにより説明に誘導 ・GPS ・プッシュ通知 ・VR、AR技術 ・目的地に着いたら自動で案内が始まる ・スタンプラリーのような方を検討する。 <p>〈情報〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徒歩でどれくらいの時間がかかるか ・ニーズに合わせたルート提案 ・通行上危険な箇所の表示 ・建物内の案内、紹介の動画 ・ルート提示、説明、関連する施設・物の案内 ・碑や施設のストーリー ・休憩ができるカフェや飲食店 ・平和に関連するイベントの紹介 ・ルートの付近で行われるイベント情報 ・トイレ、休憩場所の表示 ・短縮ルートの表示
その他感想、気付き	<p>〈ニーズに合わせた提供〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短いルートもあると良い。 ・県外の友人と行こうとは思わない。平和学習は資料館で充分であり、サイクリングなど他の目的を設けるべき。 ・ボランティアガイドの紹介をしてあげるとよい。 ・平和学習したい人、アート等をおりませた親しみやすいものがよい人など、各人にあったコースが必要。 ・コースにこだわらず、エリアで散策できるような表示も必要。 <p>〈参加者の満足度の向上ー平和への理解を深めるー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島や長崎の体験がどれ程認識されているのか。他所との違いを打ち出さないといけない。 ・全体的に、それぞれの場所に説明がない。 ・施設等の関係者の説明があるとよい。 ・各施設に、爆心地からの距離、現在地が分かる地図があれば理解が深まる。 ・次のポイントまで歩く間に話を聞くことができるとよい。 <p>〈参加者の満足度の向上ー広島の魅力を楽しみながら参加できるー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2時間歩くとしんどい。無料で休める場所の案内があるとよい。 ・食べ歩きができればよい。 ・静止しているものを見るだけでなく、コンサートなど、動きのあるものが加わるとよい。 ・各コースの終点で、近くの宿泊、ショッピング、飲食店の案内をしてあげるとよい。 <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広がって歩いたり、狭い道で立ち止まるのはやめた方がよい。 ・県外から進学した学生や留学生にはよいが、1～2日だけ来る観光客には向かない。 ・ガイドは蛍光色のものを着ると分かりやすい。 ・自分が行こうとするルート上の施設等の事前学習が必要。 ・興味がある人でないとだめかもしれない。興味、意欲がないと、疲れた、飽きたとなる。

①被爆当時の痕跡を残す被爆建造物を巡るルート(徒歩ルート) (8名)

項目	意見
迷いやすい箇所、歩きにくい箇所など、経路等の改善が必要な場所	<ul style="list-style-type: none"> ・本川橋は幼い子ども連れには危ない。 ・本通は人が多く歩きにくい。 ・最初と最後の施設の位置が離れているので別ルートにする。(原爆ドーム・本川小学校と、袋町小学校) ・袋町小学校への道が分かりにくい。 ・裏道を通るので迷いやすい。マップに周辺の写真を付ける。
立ち寄り場所に加えた方がよい施設、削除した方がよい施設	<p>加えた方がよい施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆の子の像 ・原爆ドーム ・アンデルセン ・福屋 ・元安橋欄干の灯りの石 ・相生橋の被爆柱 ・西平和大橋などアート作品 ・平和記念公園内は被爆の痕跡にこだわらず、ゆっくり色々巡る。 ・爆心地(島病院)に関心がある人は多い。 ・休憩場所(ベンチ、カフェなど)
各立ち寄り場所についての気付き	
本川小学校平和資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・見学ができず残念。貴重な資料なので、もう少し多くの見学者の目に触れるようにしてほしい。土・日曜日でも入れるようにしてほしい。 ・入る手続きが外国人には難しい。学校の受付を通らないといけないのを改善してほしい。 ・住宅地の方を回って入るのは迷惑になるかもしれない。 ・道幅が狭く、路側帯が必要。 ・近くの入口から入れるようにする。
平和記念公園(旧慈仙寺墓石、レストハウス)	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の写真や、爆心地との距離、位置関係など具体的な案内が載った案内板がほしい。 ・発掘調査のこと、当時のままにされていることを説明に入れる
旧日本銀行広島支店	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に案内がほしい(地下への行き方、見るべきポイント、英語の案内、順路) ・3Fの展示が少ない。 ・案内する人がいたほうがよい。 ・平和関係の場所ということが分かりづらい。
袋町小学校平和資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のガイドの話を知るのがよい
その他感想、気付き	<ul style="list-style-type: none"> ・本通の飲食店のPR、広島復興と密接な関係があるお好み焼きの話の紹介があるとよい。

②被爆前後の文化・文学を巡るルート(徒歩ルート) (9名)

項目	意見
迷いやすい箇所、歩きにくい箇所など、経路等の改善が必要な場所	<ul style="list-style-type: none"> ・広島城跡やエドモンドブランデン詩碑周辺は高齢者には歩きにくい。足場が悪くてこぼこしたところがある。 ・地下道、歩道に順路の表示がほしい
立ち寄り場所に加えた方がよい施設、削除した方がよい施設	<ul style="list-style-type: none"> 加えた方がよい施設 ・昭憲皇太后御座所跡 削除した方がよい施設 ・映像文化ライブラリー ・エドモンドブランデン詩碑 ・平和大橋
各立ち寄り場所についての気付き	
広島城	<ul style="list-style-type: none"> ・被爆樹木に爆心地の方向が示されているとよい。 ・石垣の刻印、大本営跡、桜の池跡、中御門跡の説明板があるとよい ・中国軍管区司令部防空作戦室跡に入れないのが残念 ・詳細が分かるパンフレットを設置してほしい。 ・音声ガイドがあるとよい。 ・案内板が少ない。 ・二の丸に英語の説明がほしい。
ひろしま美術館・映像文化ライブラリー・エドモンドブランデン詩碑	<ul style="list-style-type: none"> ・エドモンドブランデン詩碑は見つけるのが困難、説明も少ない。 ・映像文化ライブラリーは観光地と呼べるものではない ・映像文化ライブラリーは日本人向け。 ・もう少し主張した方がよい。目立たない場所にある。
平和記念公園(峠三吉詩碑)	<ul style="list-style-type: none"> ・英訳が裏にあり、伝わりにくい。外国人が見ても関心を持たないのでは。 ・ガイドがないと分からない ・日・英両方があるのがよい。
平和大橋・西平和大橋	<ul style="list-style-type: none"> ・説明板を設置したほうがよい。普通の橋という感じしかない。 ・建物疎開の話を入れる ・撮影スポットを知らせる
スマートフォン向けコンテンツにあったらよい機能や情報等	<ul style="list-style-type: none"> ・VR、AR技術により大本営跡で当時の建物を見せる
その他感想、気付き	<ul style="list-style-type: none"> ・平和公園のマップをつくり、分かりやすい場所に設置する。 ・歴史とアートのつながりがうすいので、どちらかにしぼった方がよい

③市民生活の復興を巡るルート(徒歩ルート) (10名)

項目	意見
迷いやすい箇所、歩きにくい箇所など、経路等の改善が必要な場所	<ul style="list-style-type: none"> ・本通や休日は人通りが多いので、平日ならばよい。 ・平和記念聖堂への道は遠くて狭い。 ・大きい通りから、わき道、生活道路に入ると、分からなくなり、行くのをやめようと思う。
立ち寄り場所に加えた方がよい施設、削除した方がよい施設	<p>加えたほうがよい施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界平和記念聖堂の地下 ・幟町公園内の慰霊碑 ・幟町小の資料室 ・基町アパート ・中央図書館 <p>ルートの主旨を明確にした施設のみ回るほうが、全体を通して流れを理解しやすい。</p>
各立ち寄り場所についての気付き	
旧西国街道(本通)、アンデルセン	<ul style="list-style-type: none"> ・旧山口銀行のモニュメントは見つけにくい ・アンデルセンは知らない人は素通りする。被爆建物であることをアピールした方がよい ・バーチャルで旧西国街道のにぎわいを再現した映像を流すなどしないといイメージがわからない。復興過程を想像できるようにする。 ・現在、説明板の写真の中のどこに立っているのかを分かるようにする。
世界平和記念聖堂	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内で涼しいので、ここで観光+休憩は良い案。 ・平和に関連するものであることが分かるよう説明板があった方がよい。 ・市民の心の支えになった、救済に尽くしたなど、復興の視点でもうひとひねりほしい。 ・個人の宗教、宗派によっては訪問できない人もいるのではないか。 ・信者から話を聞くことが出来て有意義に感じた。
福屋八丁堀本店	<ul style="list-style-type: none"> ・案内板と建物に距離があり分かりにくい。 ・広島のお土産デパートであることを打ち出す。 ・人通りが多く、じっくり見ることができない。
旧広島市民球場跡地	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥居の台座が青少年センターにあるのは驚きだった ・野球が復興の証であること、復興への道のりが分かるようにするとよい ・広島市民には思い入れがあるが、観光客には空き地を見てどんな風を感じるか疑問
その他感想、気付き	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に隠れているものを探すようで楽しかった ・被爆して残った壁など見つけにくいものが多かったので、それを逆に利用した宝探しのようなスタンプラリーなどをするとよい。 ・観光客にはインパクトが足りないので、有名な場所も多く取り入れたほうがよい。 ・水辺のコンサートをやっていた。こうした市民の活動を見ることで、復興の力を感じることができる。 ・昭和20年との比較だけでなく、供木運動や平和記念公園の整備の進行など、昭和30～40年代を感じられるルートとしてほしい。

2 自転車ルートに関するヒアリング結果

実施日：6月4日（月）

相手方：株式会社mint 代表取締役 石飛 聡司

広島市の観光レンタサイクルを活用し、平和を学び感じるルートや、ゲストの興味に合わせたルートなど、地元スポットを地元スタッフと巡る、ガイドブックに載っていない旅を提案する自転車ツアー、Hiroshima Cycling「sokoiko!」を実施している。

目的：同社は、外国人旅行者等向けに、平和をテーマにした自転車ガイドツアーを行っていることから、ピースツーリズム推進事業のうち自転車によるルートについて、アドバイスをいただく。

項目	意見
周遊形態	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車で周遊するには、ガイドが必須ではないか。 郷土資料館へは分かりやすい経路がなく、ガイドなしで行くのは難しい。 被服支廠やマツダスタジアムは、ガイドなしで行っても、何をみればよいのか分からない。 中心部から離れると、英語標識が少なくなり、店舗等の人も外国人対応に慣れていない。 信号などを渡る場合も多く、人数が一定数を超える場合は案内役と、安全確認役の2名のガイドが必要。
経路	<ul style="list-style-type: none"> ・風景に変化がある道、木々が並び暑さをしのげる道など、快適に移動できる道を選ぶ。 ・路地に入り、日本の住宅を見るのも、外国人にとってはおもしろい。（原風景のリアルな文化体験） ・赤十字病院の被爆窓枠のモニュメントを案内するとよい。（平和記念公園から自転車でここまで移動してこのモニュメントを見ると、この距離でもこれだけの被害があったということが分かる）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーの悪い人が立ち寄り場所でゴミを置いていくことなども想定した対応が必要。 ・sokoiko!では、ファミリーと、熟年カップルの利用が多い。

今後の事業展開について

1 懇談会で提起された意見や提案への対応

(これまでの対応)

- 懇談会から提起された意見や提案への対応について、5月17日に庁内の関係部局を集めて説明会を開催した。
- 関係部局には、提起された意見や提案についての現状や実施の可能性等について整理し、事務局に提出するよう依頼した。
- 情報発信に係る意見や提案のうち、現在制作しているスマートフォン向けコンテンツに関連するものについては、意見や提案を踏まえた情報収集や配慮等を行いながら、順次掲載原稿を作成している。

(今後の対応)

- 関係部局が整理した現状や実施の可能性等の内容について、7月中に事務局が関係部局に出向いてヒアリングを行う。
- その後、意見や提案を実現するにはどのようにすればよいか、関係部局と協議し、直ちに実現可能なものは今年度中に実施するよう、また予算を伴うものは来年度の予算に計上するよう促していく。
- これらの対応状況については、今後の懇談会において報告を行う。

【前回の懇談会以降に提起された意見や提案】

〈来訪者への情報発信について〉

- ・アジアの国々からたくさんの来訪者を迎えることができるような施策を検討する。
- ・資料館に、今の国際情勢を視覚的に伝える掲示板を設置する。
(例示：各国における核兵器禁止条約への取組状況など)

〈来訪者を迎えるにあたっての環境づくりについて〉

- ・平和記念公園の来訪者の多くが、昼食場所・休憩所の所在を知らないので、案内する。
(例示：国際会議場地下2階にレストランがあることを周知する)

〈迎える市民の積極的な関与について〉

- ・市民から自分が回った「私のピースツーリズムコース」というものの提案を募集する。
- ・クラウドファンディングなどによって、市民が自らもピースツーリズムに出資することにより、関心を高め、自分達の意見をしっかり言ってもらおう。
- ・ピースツーリズムを持続可能なものとするため、一人一人が行動するための最低限の知識や経験を授け行動基盤を養う場を作る。
- ・高校生の平和大使や、ピースボートの参加者など、平和を希求する活動を始めたい者の受け皿づくりを検討する。

〈ピースツーリズム推進事業の推進にあたっての配慮・対応が必要な事項〉

- ・団体旅行のツアーガイドや添乗員にヒアリングする。
- ・市役所の電話の待機音を「平和の歌」に統一することにより、平和への市民の関心を高める。
- ・被爆体験伝承者などに、研修終了後も今の情勢を伝える場を設ける。
- ・被爆体験伝承者の他地域への派遣費用は国が助成することになったが、被爆体験証言者の派遣費用は受入団体側の負担となっているため、市が負担するなどの検討を進める。

2 スマートフォン向けコンテンツ制作状況

トップページ

HIROSHIMA PEACE TOURISM

EN

HOWTO このサイトの使い方

CONCEPT

平和への思いを
多くの人と共有したい

more

CONTENT コンテンツ

WORLD CULTURAL HERITAGE 世界文化遺産

ルート一覧ページ

HIROSHIMA PEACE TOURISM

EN

ROUTE おすすめルート

被爆建物・慰霊碑

徒歩と自転車（びーすくる）による被爆当時の痕跡を残す被爆建造物を巡るルート

歩 徒歩：約3時間
🚲 自転車：約1.5時間

文化・芸術

被爆前後の文化・文学を巡る

歩 徒歩
🚌 バス：約8時間

ルート紹介ページ

HIROSHIMA PEACE TOURISM

EN

ROUTE 01 徒歩と自転車（びーすくる）による被爆当時の痕跡を残す被爆建造物を巡るルート

徒歩 自転車

時代を越えて核兵器の廃絶と恒久平和の大切さを世界へ訴えるシンボルとなっている原爆ドーム。その他にも、いまなお被爆当時の痕跡を残し、あの日に何が起こったのかを教えてくれる被爆建造物が、市内に点在しています。このうち、市中心部に残る被爆建造物を、徒歩で巡るルートを紹介します。

ROUTE MAP ルートマップ

6スポット 約3時間 約2.5km

個別ページ(原爆ドーム)

HIROSHIMA PEACE TOURISM



原爆ドームのストーリー

movie

photo

AR

SPOT 01 原爆ドーム (旧広島県産業奨励館)

チェコの建築家ヤン・レツルの設計監督により広島県物産陳列館として建設されました。広島県立商品陳列所、広島県産業奨励館と改称。特徴ある緑色のドームによって市民に親しまれました。

原爆は、この建物の南東約160メートルの至近距離でさく裂したため、建物は大破・全焼して館内にいた全員が亡くなりました。

戦後いつの頃からか原爆ドームと呼ばれるようになりました。

人類史上最初の原子爆弾による被爆の惨禍を伝える歴史の証人として、また、核兵器廃絶と恒久平和を求める誓いのシンボルとして、平成8年(1996年)12月、ユネスコの世界文化遺産に登録されました。

ストーリーページ(原爆ドーム)

— 建設：広島県物産陳列館の建設



広島市公文書館所蔵 (提供)



広島市公文書館所蔵 (提供)

原爆ドームのものの建物は、チェコの建築家のヤン・レツルの設計により、大正4年(1915年)4月5日に広島県物産陳列館として完成しました。

この建物は、一部鉄骨を使用した煉瓦造の建築で、石材とモルタルで外装が施されていました。

全体は窓の多い3階建てで、正面中央部分は5階建ての階段室、その上に銅板の楕円形ドーム(長軸約11m、短軸約8m、高さ4m)が載せら

3 事業スケジュール

時期	コンテンツ作成	検証	広報	懇談会
5月	個別ページ (ルート1・4) 制作	●5/19 市立大学平和インターンシップ		
6月	英語翻訳	●6/4 自転車ルートヒアリング (株)mint)		
7月	個別ページ (ルート2・3) 制作 ストーリーページ (ルート1・4) 制作			●7/3 第2回懇談会 ・ルート検証実施状況 ・今後の事業展開
8月	英語翻訳	外国人等による ルート検証 (ルート1・4)	簡易チラシ作成 A5サイズ・両面 日・英	
9月	ストーリーページ (ルート2・3) 制作		●プレスリリース	
10月	10月公開予定 英語翻訳	外国人等による ルート検証 (ルート2・3)	●総合案内所等で配架 ●「ひろたび」で情報発信	●10月下旬 第3回懇談会 ・ルート検証実施状況 ・懇談会意見・提案への 対応の進捗状況
11月	個別ページ(ルート1～4) ストーリーページ (ルート1・4)			
12月	リーフレット作成			
1月			●市民と市政掲載	●1月下旬 第4回懇談会
2月				・リーフレット作成 ・懇談会意見・提案への 対応の進捗状況
3月				

ルート1 被爆当時の痕跡を残す被爆建造物を巡るルート
 ルート3 市民生活の復興を巡るルート

ルート2 被爆前後の文化・文学を巡るルート
 ルート4 被爆に関する資料館を巡るルート

4 外国人等によるルート検証の実施（案）

実施時期：スマートフォン向けコンテンツの個別ページが完成する7月以降

実施方法：スマートフォン向けのコンテンツを見ながら、ルートを回ってもらい、ルートの構成や、立ち寄り場所の説明等について、外国人等の目線で意見をもらう。

- ・7月 ルート1、ルート4の検証（各ルートの個別ページの英訳完了後）
- ・9月 ルート2、ルート3の検証（各ルートの個別ページの英訳完了後）

<u>ルート1</u> 被爆当時の痕跡を残す被爆建造物を巡るルート	<u>ルート2</u> 被爆前後の文化・文学を巡るルート
<u>ルート3</u> 市民生活の復興を巡るルート	<u>ルート4</u> 被爆に関する資料館を巡るルート

協力打診先：広島市留学生会館、ユニタール広島事務所の関係者
市民活動グループええじゃん(外国人の生活支援や国際交流活動を実施) 他

次回懇談会の日程

10月下旬頃に実施予定とし、

後日、事務局から日程調整を行う